

学 校 名	東京学芸大学附属小金井中学校	実施年月日	平成 5 年 1 月 24 日
指 導 者	西原口 伸一	授業コード	M - 2
学 年	3 学年	教 科	技術・家庭科（技術分野）
単 元 名	機器の保守と事故防止		
単 元 の 目 標	実践的・体験的な学習活動を通して、機器の保守と事故防止に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術が果たす役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力と態度を育てる。		
単元の指導計画	電気回路の構成と屋内の配線（1h）、スイッチのはたらき（1h）、許容電流（1h）、感電の仕組み（1.5h）、感電とアース（1h 本時）、学習のまとめ（1h）		
本時のねらい	1) アースによる事故防止の実態配線を、回路図に書き表すことができる。 2) 書き表した回路図を用いて、アースによる事故防止の仕組みが説明できる。		

本時の学習活動の展開

<別紙 指導案どおり>

デジタルコンテンツの利用計画と利用主旨	デジタルコンテンツに関する授業は、1年生対象に、毎週1時間、「情報」という教科を設定し指導に当たってきた。指導者は3名。基本操作、日本語ワードプロセッサ、表計算、インターネット、電子メール、プレゼンテーションソフト等について指導し、1年の総合学習ではオリンピックに参加した国々を調べ、レポートにまとめ発表させた。また、1年の修学旅行の事前、事後の調査研究と研究のまとめと発表などをいった。さらに来年度2学年で行われる修学旅行の事前調査でも情報の収集やレポートのまとめで活用した。
---------------------	---

(備考1) 枠の大きさを変更しても構いません。

(備考2) 学習活動の展開については自由フォーマットの別紙を添付しても構いません。その際はその旨を上枠に記入してください。